

よいまちつくろう～菜の花プロジェクト～

小学校低学年

小学校高学年

小学校中学年

中学校

ESD
の要素持続可能な社会
づくりの
構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で
育みたい
能力/態度【批判】批判的に考え
る力【未来】未来像を予
測して計画を立てる力【多面】多面的、総
合的に考える力【伝達】コミュニケー
ションを行う力【協力】他者と協力
する態度【関連】つながりを
尊重する態度【参加】進んで参加す
る態度プログラ
ムの目標

- ①校区にあるJR松山駅をより明るい場所にして、地域の方々の心を和ませることができるよう、自分たちができることを考え、実践する。
- ②地域や専門機関の多くの方と触れ合う中で、地域との関わりを深め、地域への愛着を持つことができる。
- ③菜の花を種から育てる活動を通して、植物の成長の仕方を観察するとともに、生命の尊さを感じ大切にすることを育むことができる。

プログラ
ムの概要

地域の玄関口であるJR松山駅の利用者に笑顔になってほしいという思いから、児童が自分たちにできることを考え、菜の花の栽培を行った。専門家の指導を受けながら土づくり、種まき、水やり、草抜き、間引きなどの作業を体験し、植物の成長を観察した。さらに、JR駅職員の協力のもと「駅探検」を実施し、駅構内のどの場所に菜の花のプランターを飾るかアイデアを出し合うなど、地域の人々と交流しながらプログラムを展開した。また、食用菜の花の栽培により、間引いた菜の花をお粥・雑炊にして食べる体験が可能となり、防災時における菜の花の活用方法について学んだ。

学習指導
要領との
関連

学年	小学校
教科/領域	生活
学習内容	<p>第3章 生活科の内容</p> <p>(3) 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしたりしている人々や様々な場所とかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p> <p>(7) 動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、またそれらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。</p>

持続可能な社会の構成概念



菜の花の栽培に責任をもって自分の手で育て収穫し、グループ内での協同的な活動において自分の役割を果たす。



自然の恩恵や作物を育てる人々の努力・苦勞を知り、自分と自然や身近な人々とのつながりを感じ得する。

ESDで育みたい能力／態度



菜の花が食べられることを知るとともに、自然物はすべて資源になると捉えることができる。



話し合い活動において、他者の気持ちや考えを尊重しながら、自分の気持ちや考えを話す。伝える相手を意識して学習したことをより分かりやすく工夫して表現する。



地域の多くの人々が支え合いながらよいまちをつくらうとしていることを知り、感謝の気持ちをもつ。

プログラム（単元・題材）の展開の流れ

総時間
9時間

1

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

菜の花の種まき

1時間目

「菜の花クイズ」で菜の花について学んだ後、種まきを行う。

- ・菜の花に興味を持つため大学生による菜の花クイズを通して楽しく学ぶ。
- ・農家の方から指導してもらうことで、より質の高い実践ができることへの喜びを大切にする。

〔菜の花クイズ、手順説明用紙（A4用紙）、菜の花の種、種を入れる白いプラスチックカップ、土（2種類）、プランター、ジョウロ〕

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

菜の花の間引き

2時間目

間引き作業の必要性について学ぶ。間引きした菜の花は次回お粥・雑炊に使うため、水で洗いお湯でゆでて冷凍保存する。

- ・3人1組のグループで他者と協力しながら作業を行う。
- ・間引いた菜の花は捨てずにお粥・雑炊に活用する。
- ・菜の花の葉っぱを食べている虫を観察する。

〔ガスコンロ、大きめの鍋、ざる、菜箸〕

批判

未来

多面

伝達

協力

関連

参加

他の駅の様子を知る

3時間目

講師の先生から世界中のいろいろな駅の様子を学ぶ。また、目の不自由な人、足が悪い人、外国から来た人が駅を利用する際にどんなことに困るか考える3つの部屋ゲームを行い、駅で困るときはどんなときかを考えるとともに、駅利用者が笑顔になる駅について話し合う。

- ・写真を見ながら具体的にイメージし、それぞれの駅の良さを感じる。
- ・駅構内の券売所、階段、ホームなどの場所を想定し、その場所で困る人が誰かを考える。また、なぜ・どのように困るのかを考える。

〔さまざまな駅の写真〕

批判

未来

多面

伝達

協力

関連

参加

松山駅の探検

4・5
時間目

JR松山駅で説明を受けながら構内を探検し、駅の地図に気付いたことを書き込む。
菜の花の置き場所について個人で考えた後、グループごとでよりよいまちにするための具体的な方法を話し合う。

- ・直接駅に足を運ぶことで、自分たちにできることについて具体的に考え、計画を立てる。
- ・駅職員の説明を受けながら駅構内を探検することで、地域との関わりを深める。

〔駅構内図（A4サイズ人数分、A3サイズ班数分）、丸シール（小：3枚×人数分、大：人数分、班ごとに使用）〕

批判

未来

多面

伝達

協力

関連

参加

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

東北の菜の花プロジェクトの話、菜の花のお粥・雑炊体験

6時間目

講師より東北で行われている菜の花プロジェクトの話聞き、地域復興に菜の花が活用されていることを知る。
間引き作業の際に出た菜の花を活用して作ったお粥・雑炊を紙とナイロン袋のカップで試食し、被災時に活用できる方法を学ぶ。

・菜の花のお粥・雑炊は味を2種類用意し、少し味付けを工夫することで、飽きない食べ方ができることを伝える。

〔菜の花プロジェクト写真、紙（人数分）、ナイロン袋（カップに丁度よい大きさのもの、人数分）、ガスコンロ、大きめの鍋、米、冷凍した菜の花、その他 調味料など〕

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加

菜の花を松山駅に飾る

7・8
時間目

児童が育てた菜の花のプランターをJR松山駅に飾り、今以上に明るく元気の出る駅になってほしいという思いを駅職員に伝える。

・それぞれのプランターには児童が描いたイラストを活用し、駅利用者の関心をひく工夫をする。
・駅構内に今年度の取り組みを紹介したポスターを掲示することでESDの普及を行う。
〔菜の花プランター、ESD紹介ポスター〕

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加

菜の花の回収、これからの取り組みに向けて

9時間目

・JR松山駅に飾っている菜の花を学校に戻し、講師への感謝の気持ちを歌・メッセージで伝える。
・今後も種がとれるまで菜の花のお世話を続けて次の2年生に種を送る計画を立てる。

・菜の花は花が散った後も種が取れるまで栽培を続け、できた種は次の2年生に送ることで、命のつながりを感じる。

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー

- ・愛媛大学大学院
- ・愛媛大学
- ・特定非営利活動法人えひめ311
- ・公益財団法人松山国際交流協会
- ・JAえひめ
- ・南海放送株式会社
- ・南海放送サービス株式会社
- ・松山市立新玉小学校

実証協力校等

松山市立新玉小学校